

個人投資家向け会社説明会

2026年3月2日

証券コード：7322

I.ポイント …P. 2

II.会社概要 …P. 6

III.資本政策・株主還元 …P. 13

IV.業績・中期経営計画 …P. 19

IV.Appendix …P. 29

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。これらの記述はリスクと不確実性を内包しており、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は経営環境に関する前提条件変化等に伴い目標対比変化することにご留意下さい。本資料は、当社に関する理解を深めていただくための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。

【本件に関する照会先】

三十三フィナンシャルグループ 経営企画部 梅田・石原

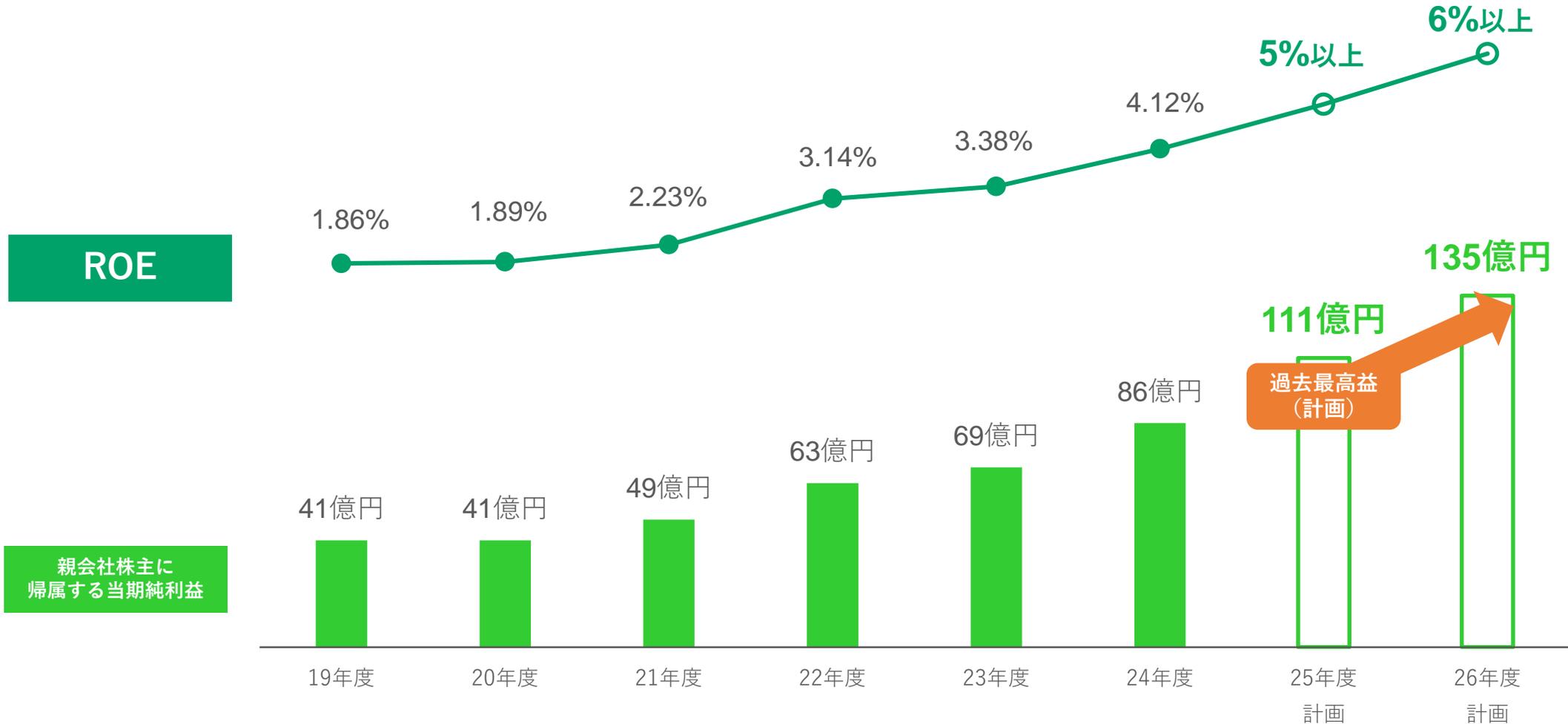
TEL 059-354-7187 FAX 059-355-8225

E-mail koho@33bank.co.jp



ポイント① 好調な業績

当期純利益は**過去最高益**を更新中、26年度には**ROE6%超**へ

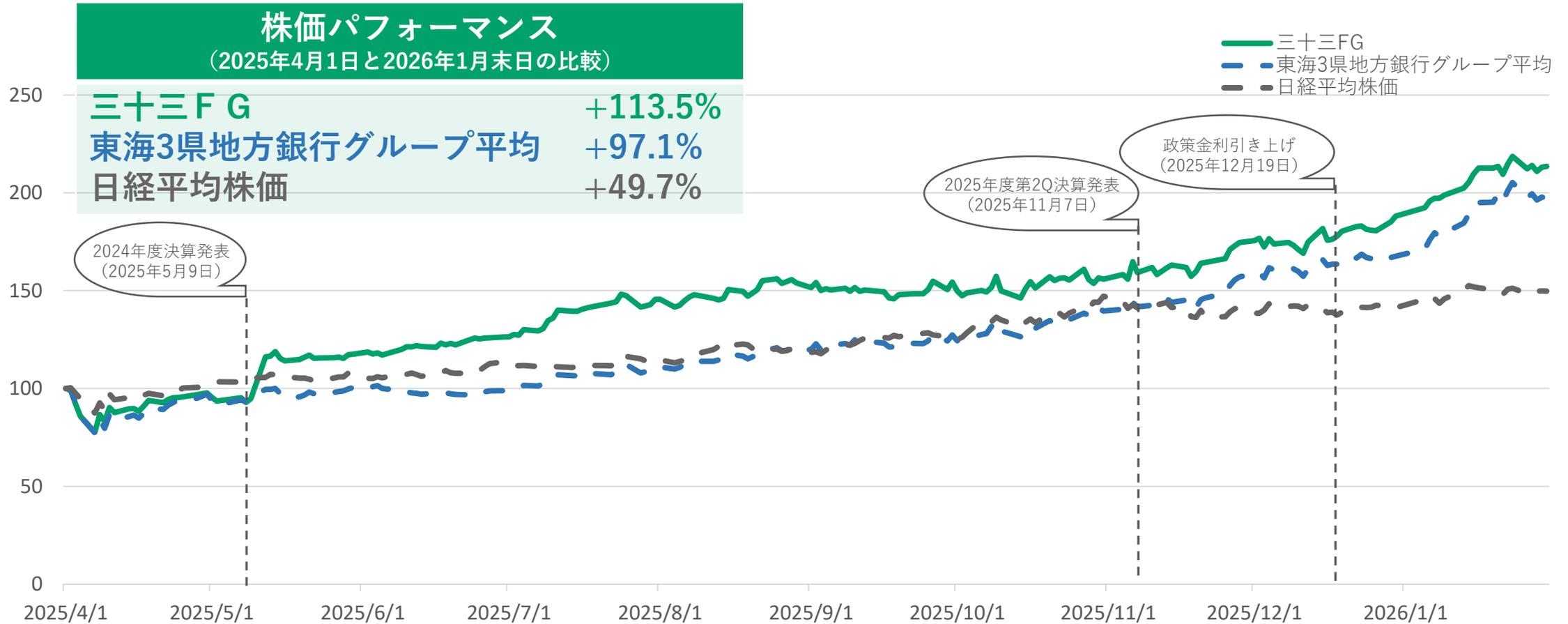


(第3次中期経営計画最終年度)

ポイント② 好調な株価



東海3県地方銀行グループ平均・日経平均株価を上回るパフォーマンス

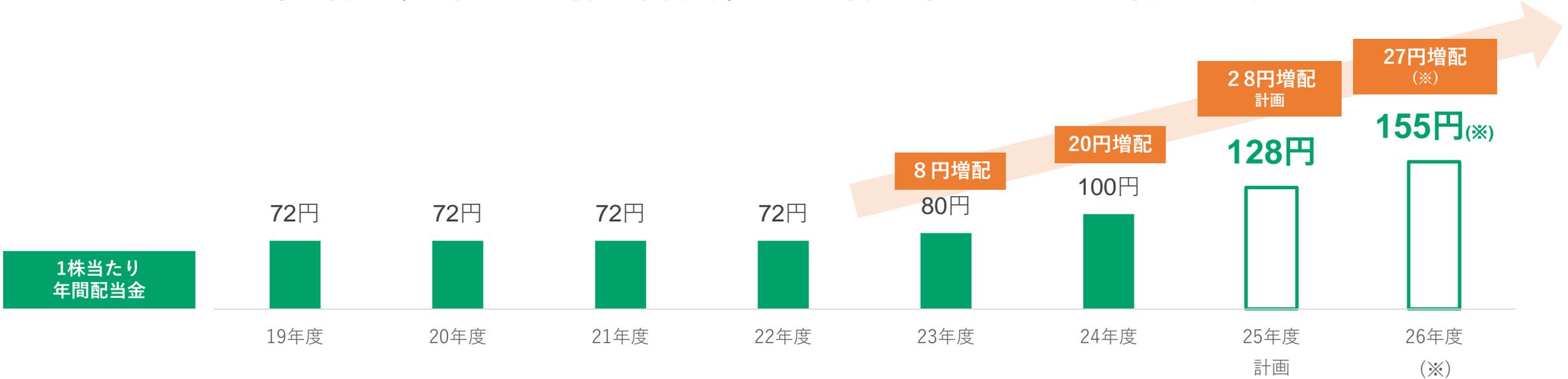


*2025年4月1日終値を100とした場合の推移



ポイント③ 連続増配

2期連続増配、今期も増配計画、更に株主優待拡充・株式分割実施予定



更に

- 株主優待拡充 (25年11月開示)
- 株式分割実施 (26年2月開示)



オリジナル QUOカード

(※)中計目標による試算

- 親会社株主に帰属する当期純利益135億円
- 配当性向30%
- 分割前基準

I.ポイント	…P. 2
II.会社概要	…P. 6
III.資本政策・株主還元	…P. 13
IV.業績・中期経営計画	…P. 19
IV.Appendix	…P. 29





商号	株式会社三十三フィナンシャルグループ	株式会社三十三銀行
本店所在地	三重県松阪市京町510番地 (本社：三重県四日市市西新地7番8号)	三重県四日市市西新地7番8号
設立・発足	2018年4月2日（設立）	2021年5月1日（発足）
資本金	100億円	374億円
従業員数 <small>(2025年9月末現在)</small>	2,376名（連結）	2,227名
上場取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所	—
外部格付	A-（日本格付研究所）	A-（日本格付研究所）



三十三FG本社
(三十三銀行本店)



1895 (明治28年11月)
四日市銀行設立



1939 (昭和14年12月)
三重銀行に行名改称



1998 (平成10年5月)
本店竣工
(現本店)

1912 (大正元年10月)
熊野共融合資会社設立

1927 (昭和2年7月)
三重無尽株式会社に組織変更



1989 (平成元年2月)
株式会社第三銀行に
商号変更

2018 (平成30年4月)
三十三フィナンシャルグループ設立

三重銀行と第三銀行が経営統合。
共同持株会社「三十三フィナンシャル
グループ」を設立。
経営理念として、
「地域のお客さまから愛され信頼され
る金融グループとして、地域とともに
成長し、活力あふれる未来の創造に貢
献します。」を掲げる。

2024 (令和6年4月)
道廣社長就任
第3次中期経営計画
スタート

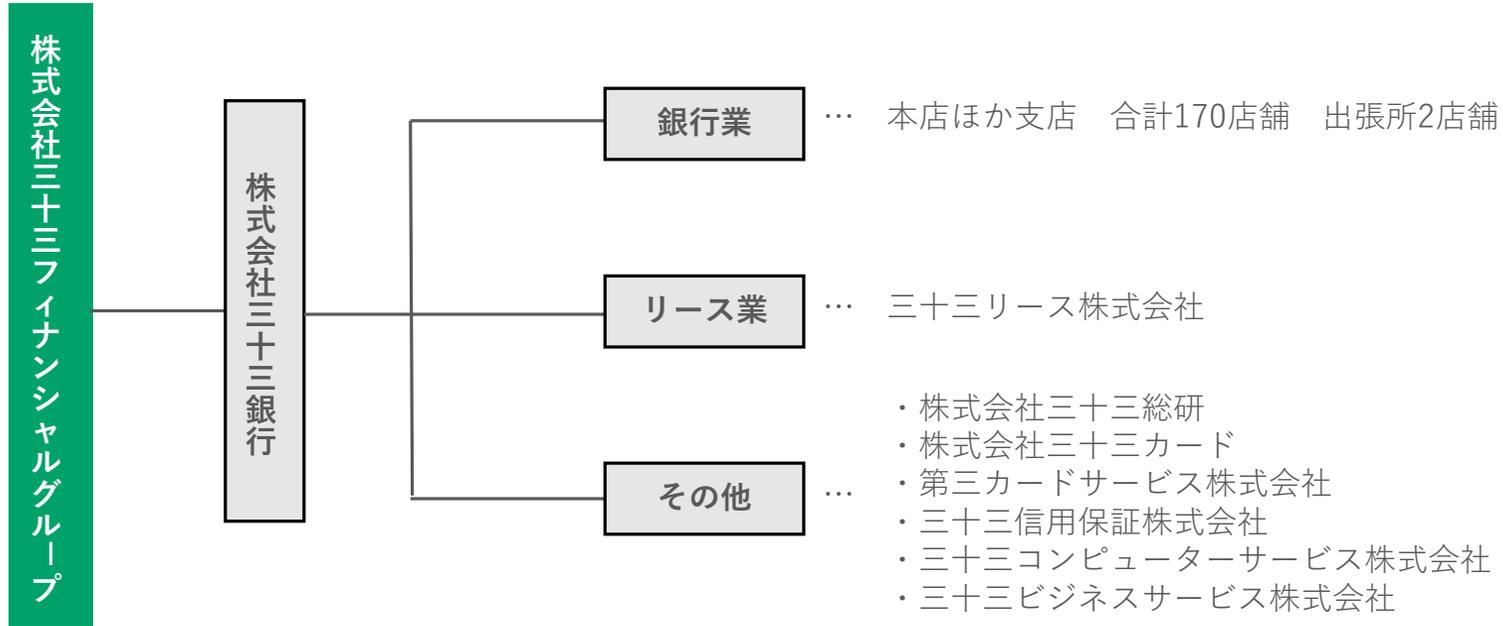


2021 (令和3年5月)
三十三銀行発足

三重銀行と第三銀行が合併し、
新たに三十三銀行が発足。

社名に込めた思い

「三十三」(さんじゅうさん)は、
旧三重銀行と旧第三銀行のそれぞれの強みをプラス (+) することで、
地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献したいという思い
を込めています。



会社名	資本金(百万円)	主要な事業内容	当社議決権比率(%)
株式会社三十三銀行	37,461	銀行業	100.0
株式会社三十三総研	50	企業経営に関する情報提供・相談業務、金融経済等の調査・研究業務	(90.0)
三十三リース株式会社	90	リース業	(100.0)
株式会社三十三カード	90	クレジットカード業務	(100.0)
第三カードサービス株式会社	60	クレジットカード業務	(100.0)
三十三信用保証株式会社	480	信用保証業務	(100.0)
三十三コンピューターサービス株式会社	20	システム運用受託業務	(100.0)
三十三ビジネスサービス株式会社	30	逋送便警備輸送業務	(100.0)

※議決権比率欄の()は、子会社における間接所有を含めた比率



三重県・愛知県を中心に1都1府5県にわたる広域な店舗ネットワーク



【拠点数】※	三重県	愛知県	他都府県	合計
2025年12月末	72	29	12	113

※実際の店舗の数（支店数とは異なります）



上前津支店
(愛知県名古屋市)



菰野支店
(三重県三重郡)



三重県・愛知県ともに製造業が盛んなものづくりの県



※1 「国勢調査 2020年」
※3 「経済構造実態調査 2024年」

※2 「内閣府 県民経済計算 令和4年度」
※4 「厚生労働省 賃金構造基本統計調査 2024年」

当行の業界内でのポジショニング（2025年度または2025年3月末基準）



利益水準やボリューム（貸出金・預金等）については、業界内で中位

	当期純利益 (※1)	貸出金（末残） (※1)	預金等（末残） (※1)
	80億円 (参考)25/上期：58億円	30,372億円 (参考)25/9末：30,861億円	39,437億円 (参考)25/9末：39,532億円
第一地銀 順位	39位	36位	37位
	自己資本比率 (※2)	コアOHR (※1)(※3)	開示債権比率 (※1)(※4)
	8.48% (参考)25/9末：8.51%	72.7% (参考)25/上期：68.1%	2.29% (参考)25/9末：2.05%
第一地銀 順位	53位	50位	52位
中計財務目標 26年度	8.6%程度	65%未満	—

(※1)銀行単体 (※2)FG連結 (※3)コアOHR…経費率（経費÷コア業務粗利益） (※4)開示債権比率…不良債権比率（不良債権÷総与信×100）

順位は各開示資料より当行調べ（第一地銀61行、55グループ順位）

I.ポイント	…P. 2
II.会社概要	…P. 6
III.資本政策・株主還元	…P. 13
IV.業績・中期経営計画	…P. 19
IV.Appendix	…P. 29





各指標改善傾向にあるものの、低水準で推移しており割安

	2022年度 (2023年3月末)	2023年度 (2024年3月末)	2024年度 (2025年3月末)	2025年度/3Q (2025年12月末)
株価	1,579円	2,084円	2,366円	4,405円
PBR	0.21倍	0.25倍	0.29倍	0.50倍
ROE	3.14%	3.38%	4.12%	5.89%
PER	6.7倍	7.4倍	7.0倍	8.5倍

株主還元方針・配当推移

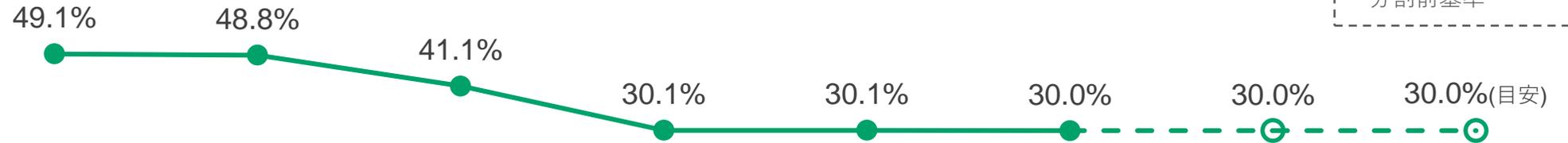


23年度、24年度と**連続増配**、25年度は**前年度比+28円の128円**を計画

株主還元方針
配当性向30%を目安

(※)中計目標による試算
・親会社株主に帰属する
当期純利益135億円
・配当性向30%
・分割前基準

配当性向



1株当たり
年間配当金



株主優待制度



より多くの株主さまに中長期的に当社株式を保有いただくことを目的とし株主優待制度を**拡充** (※)

(※) 2025年11月7日開示

	70株以上	300株以上 500株未満	500株以上 1,000株未満	1,000株以上	保有期間
定期預金	店頭表示金利 +0.25% (期間1年・10万円以上100万円以下)				—
厳選 カタログギフト	—	—	4,000円 相当	8,000円 相当	1年以上継続
オリジナル QUOカード (ポムポムプリンデザイン)	—	—	1,000円		1年以上継続



株式分割を行い、最低投資金額を引き下げ、流動性の引き上げ並びに**投資家層の拡大**を図る

分割比率

1 対 4

基準日

2026年3月31日

効力発生日

2026年4月1日

例：分割前に当社株を100株保有している場合（株価5,000円）

100株 50万円

分割後

400株 50万円

株式分割後の 株主優待	200株以上	1,000株以上 2,000株未満	2,000株以上 4,000株未満	4,000株以上	保有期間
定期預金	店頭表示金利 +0.25% (期間1年・10万円以上100万円以下)				—
厳選 カタログギフト	—	—	4,000円相当	8,000円相当	1年以上継続
オリジナル QUOカード (ポムポムプリンデザイン)	—	—	1,000円		1年以上継続

株式分割後、いくらから投資が可能か？



最低単元数

100株 (変更なし)

最低投資金額
(目安)

約12万円

1月30日時点終値 5,000円
 $5,000円 \div 4 = 1,250円$
 $1,250円 \times 100株 = 125,000円$

最低単元数に
対する配当金
(目安)

年間3,200円

2026年3月期予想 年間128円
 $年間128円 \div 4 = 32円$
 $32円 \times 100株 = 3,200円$

I.ポイント	…P. 2
II.会社概要	…P. 6
III.資本政策・株主還元	…P. 13
IV.業績・中期経営計画	…P. 19
IV.Appendix	…P. 29





資金利益の増加が業績を牽引し、FG連結・銀行単体ともに経常利益・当期純利益は**増益基調**

■三十三フィナンシャルグループ（連結）

(億円)

	【通期】				【第2四半期】		
	2022年度	2023年度	2024年度	前年度比	2025年度 上期	前年同期比	期初計画比
経常利益	87	97	117	19	77	7	1
親会社株主に帰属する 当期（中間）純利益	63	69	86	17	56	7	2

■三十三銀行

(億円)

	【通期】				【第2四半期】		
	2022年度	2023年度	2024年度	前年度比	2025年度 上期	前年同期比	期初計画比
コア業務粗利益	460	470	487	16	270	27	
資金利益	335	351	365	13	212	31	
非金利収益	125	118	122	3	58	▲ 3	
経費	▲ 358	▲ 354	▲ 354	0	▲ 184	▲ 5	
コア業務純益	101	115	133	17	86	21	0
有価証券関係損益	1	1	4	3	1	▲ 7	
信用コスト	▲ 14	▲ 14	▲ 21	▲ 7	▲ 9	▲ 5	
経常利益	89	101	116	15	79	9	2
当期（中間）純利益	60	71	80	9	58	7	2

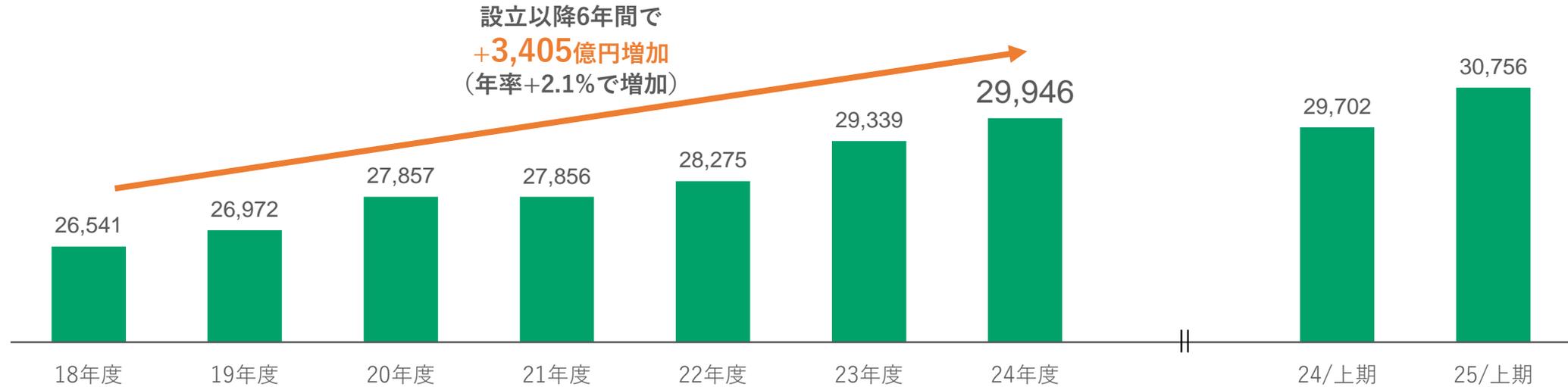
一般事業会社の
営業利益に相当



三十三フィナンシャルグループ設立以降、貸出金・預金等ともに順調に増加

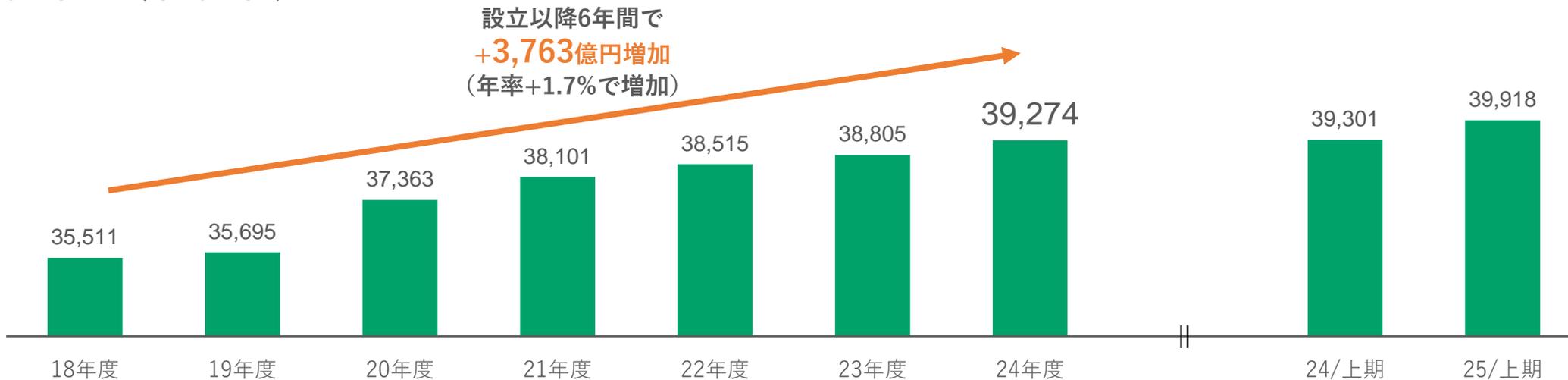
■ 貸出金残高※ (平均残高)

(億円)



■ 預金等残高※ (平均残高)

(億円)



※18年度～20年度は三重銀行と第三銀行の合算

預貸金利回り・非金利収益

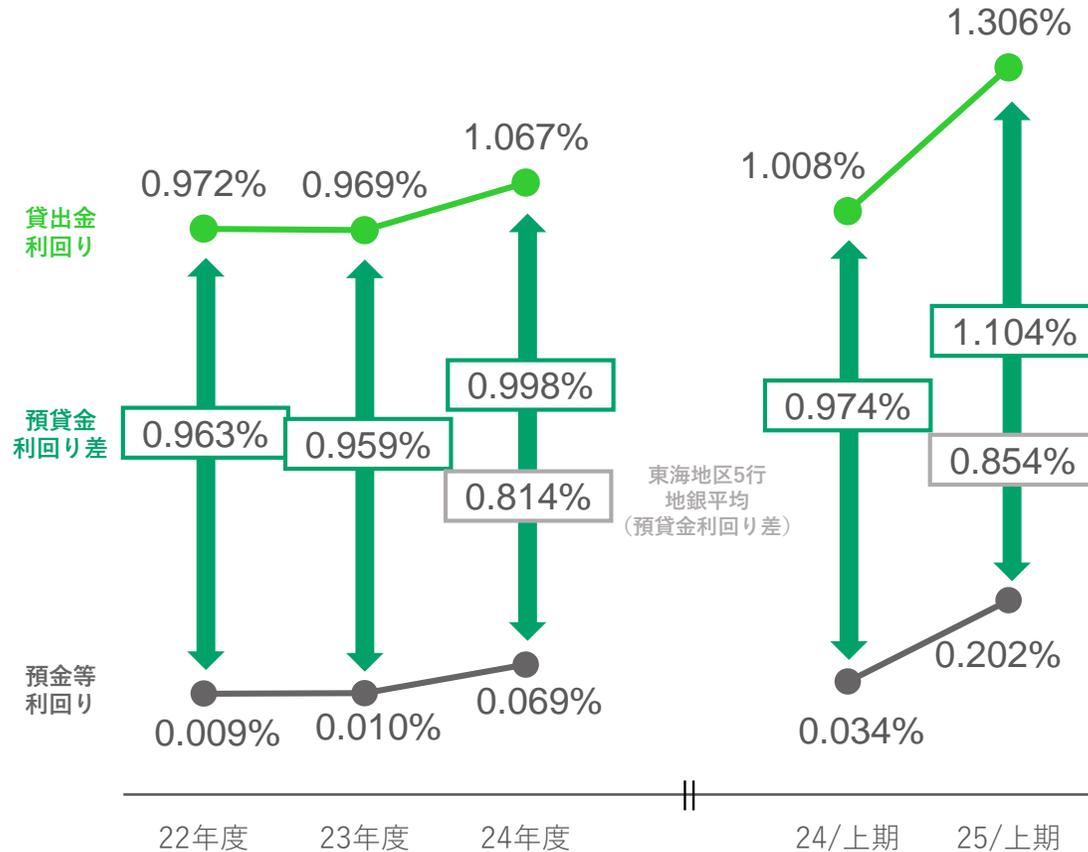


預貸金利回り差は東海地区地銀でトップ、非金利収益比率は地銀トップクラス

■ 預貸金利回り差

24年度 **0.998%**
25/上期 **1.104%**

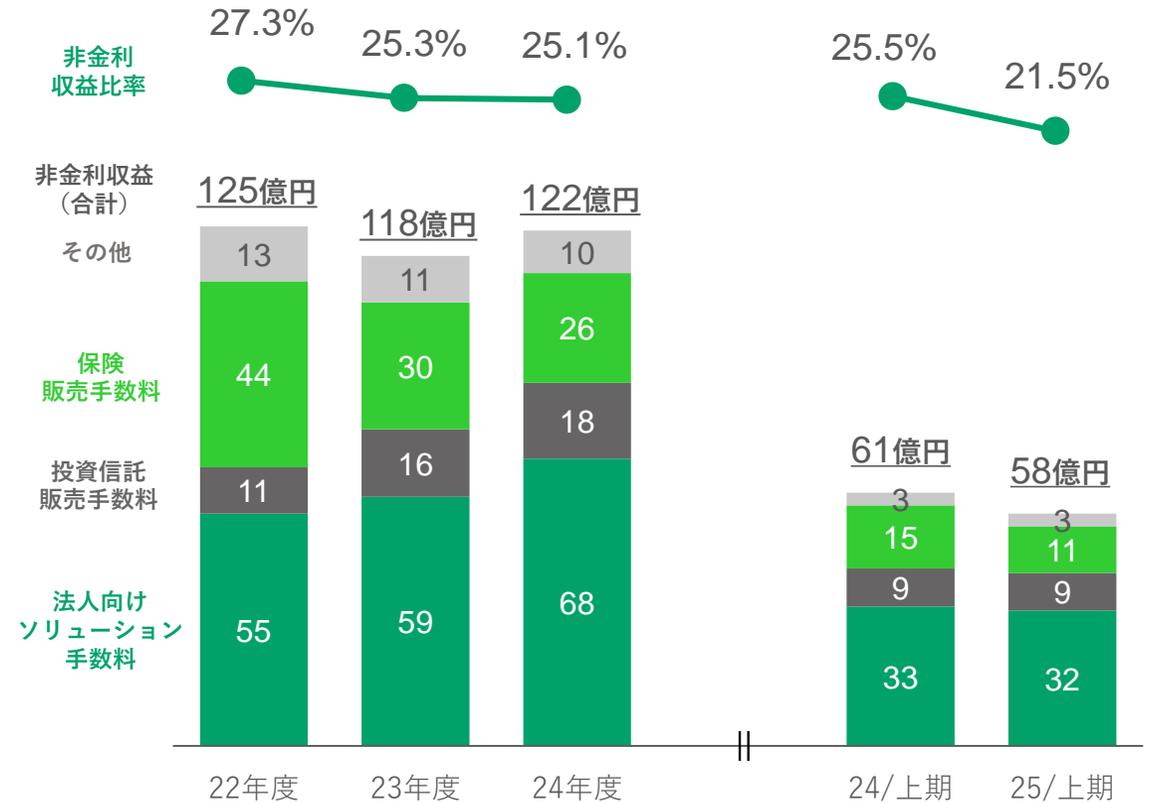
東海地区地銀
1位



■ 非金利収益比率 (非金利収益=コア業務粗利益-資金利益)

24年度 **25.1%**
25/上期 **21.5%**

地銀61行中
4位
5位





資金利益の増加を主因にFG連結・銀行単体ともに**大幅な増益計画** (25/12の政策金利引き上げは織り込んでいないが、影響は軽微)

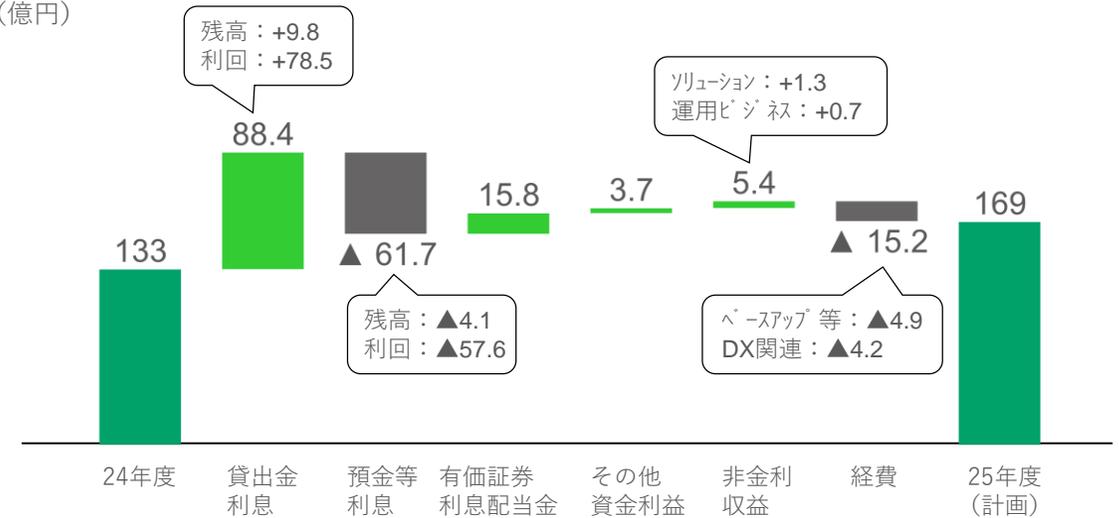
■三十三銀行

(億円)

	2025年度	前年度比
コア業務粗利益	538	51
資金利益	411	46
うち貸出金利息	407	88
うち預金等利息	▲ 88	▲ 61
うち有価証券利息配当金	79	15
非金利収益	127	5
経費	▲ 369	▲ 15
人件費	▲ 196	▲ 3
物件費・税金	▲ 172	▲ 11
コア業務純益	169	36
有価証券関係損益	4	▲ 0
国債等債券損益	▲ 26	5
株式等関係損益	30	▲ 6
信用コスト	▲ 20	△ 0
経常利益	153	36
特別損益	▲ 1	3
税引前当期純利益	151	40
当期純利益	111	30

■コア業務純益の前年同期比増減要因

(億円)



■FG連結

(億円)

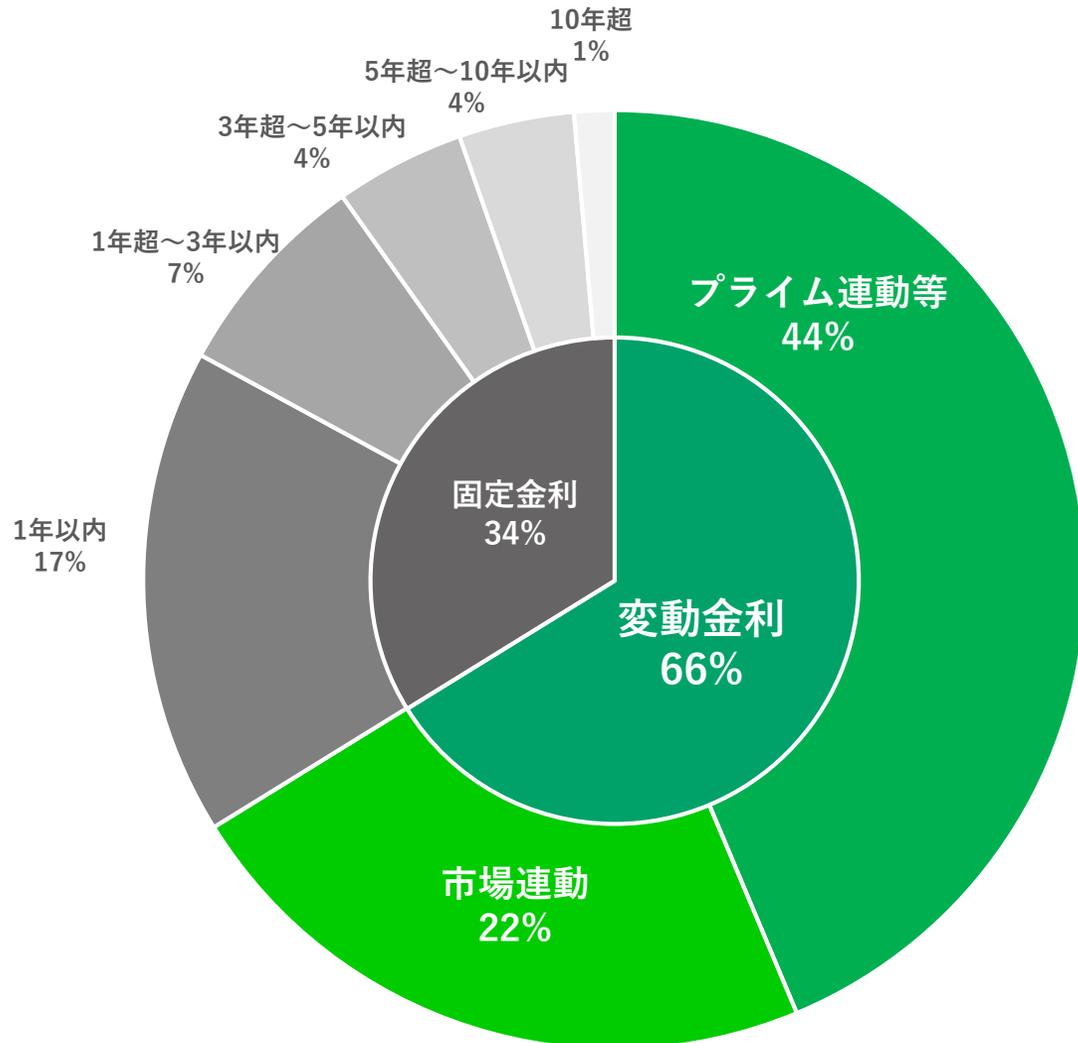
	2025年度	前年度比
経常利益	157	39
親会社株主に帰属する当期純利益	111	24

政策金利変更による影響（試算）



貸出金の変動金利割合は約66%、政策金利0.75%で26年度の預貸金利息収支は+20億円

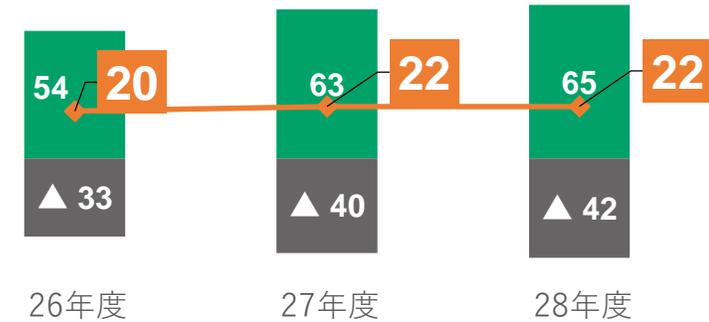
■ 貸出金の金利種別割合（26/1末）



■ 金利上昇による預貸金利息収支への影響（試算）

◆ 政策金利0.75%が維持された場合

(億円) 貸出金利息 預金等利息 合計



◆ 2026年7月に政策金利が0.75%から1.00%に上昇した場合の影響

(億円) 貸出金利息 預金等利息 合計



<試算条件>

- 貸出金・預金は26年1月残高を維持
- 短期プライムレート・市場金利（TIBOR等）は政策金利上昇幅と同レート上昇
- 貸出金：市場連動・変動住宅ローン/追従率100%、プライム連動・固定/追従率90%
- 預金：流動性/追従率40%、定期性/追従率60%～160%（期間別）



北極星（10年後に目指す姿）

金融・非金融の幅広いサービスを提供し、地域経済・社会を広く支えることで、すべてのステークホルダーから愛され信頼される金融グループ

3年後に目指す姿

合併イベントに次ぐ第二の変革として、DXや人的資本経営の推進などにより、新たな営業スタイルを確立し、収益増強と業務の効率化を図り、10年後に目指す姿の実現に向けた体制を構築する。

変革のエンジン = DX & 人的資本

名称

第3次中期経営計画

期間

2024年4月～2027年3月

ビジョン

地域信頼度ナンバー1金融グループ

地域のお客さまとの圧倒的なリレーションの構築を通じて、お客さまの経営課題やニーズに対して多様なソリューションを提供し、お客さまの期待に応えることで、地域からの信頼度ナンバー1の金融グループを目指す

位置づけ

合併に続く新たな変革のスタート

基本方針

リレーション & ソリューションの進化

DX
戦略
の
推
進

人的
資本
経営
の
実
践

経営の効率化・最適化

経営基盤の強靱化

基本戦略

- DXの推進による営業スタイルの変革
- 地域活性化に貢献するソリューションの進化

- エリアマーケット戦略に基づく店舗・営業体制の変革
- IT・DXの活用による生産性向上
- 戦略的な人材配置

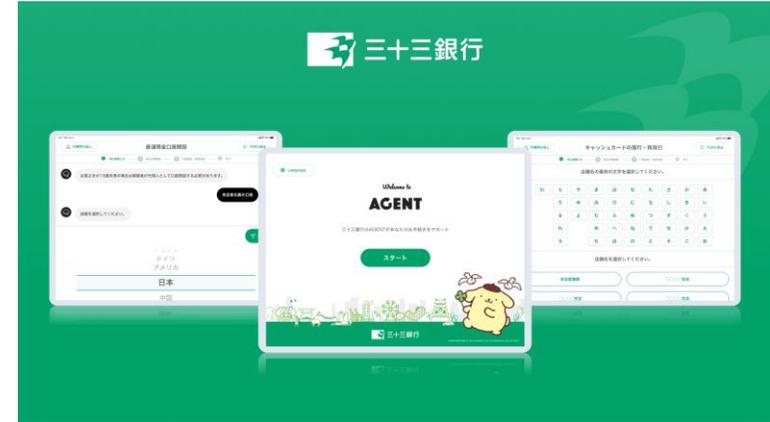
- 企業価値向上に向けた経営の実践
- 人材の育成及び魅力ある組織風土の醸成
- コンプライアンス態勢の強化とリスク管理の高度化



アプリを全面刷新、窓口タブレット「AGENT」導入により伝票レス・印鑑レスを推進

■ 「三十三銀行アプリ」のサービス提供開始

■ 窓口タブレット「AGENT（エージェント）」の導入



10万ユーザー突破！

- 2025年10月に「三十三銀行アプリ」をリリース
- 簡単・安全・快適な銀行取引が可能に
- アプリンキャンペーンを2026年3月末まで実施

- iPadを利用したローカウンター向けタブレット「AGENT」を導入
- 必要事項を直接タブレットに入力することで簡単に手続きが完了

お客様の利便性向上



当行の生産性向上



働きがい・働きやすさを向上させ、誰もが活躍できる組織へ

D&I推進チーム 「イロドリ」



- 女性活躍の推進
- 職場環境の改善
- 育児・介護との両立支援
- 障がい者雇用への対応

スキルアップ支援

- 外部トレーニー派遣
(メガバンク等)
- 外部派遣研修の推奨
- 異業種への派遣

成長意欲の支援

- 1on1ミーティング
- 人事部面接（年次別）
- 公募枠の拡充

外部からの評価

- 健康経営優良法人2025



- えるぼし認定



- 三重とこわか
健康経営カンパニー2025



計数目標（第3次中期経営計画）



中計KPIは概ね順調に推移、最終年度目標達成に向け引き続き推進

ビジョンの実現に資するKPI	25年度 計画	25/3Q	進捗率
ビジネスマッチング 成約件数	2,000件	1,479件	74.0%
事業承継支援件数	1,200件	1,057件	88.1%
地元（三重県＋愛知県） 事業性貸出残高	14,000億円	14,006億円	101.0%
NISA口座数	48,000口座	47,447口座	98.8%
投資信託積立月額	12億円/月	11.3億円/月	94.2%
平準払保険新規成約件数	8,600件	6,636件	77.2%
女性役席者比率	19.0%	19.6%	103.2%

中計目標	累計実績 (1年9か月)	進捗率
3,000件	3,489件	116.3%
3,600件	2,230件	61.9%
14,200億円	14,006億円	98.6%
55,000口座	47,447口座	86.3%
15億円/月	11.3億円/月	75.3%
24,900件	15,527件	62.4%
19%以上	19.6%	103.2%

財務目標		25年度 計画	25/3Q	進捗率	
収益性	ROE	FG連結	5%以上	5.89%	117.8%
	当期純利益	FG連結	111億円	96億円	86.5%
効率性	コアOHR	銀行単体	68.6%	68.1%	-
健全性	自己資本比率	FG連結	8.5%程度	8.58%	-

中計目標(※)	(※) 政策金利0.50%前提
6%以上	
135億円	
65%未満	
8.6%程度	

I.ポイント	…P. 2
II.会社概要	…P. 6
III.資本政策・株主還元	…P. 13
IV.業績・中期経営計画	…P. 19
IV.Appendix	…P. 29





本業の実力を示すコア業務純益（銀行単体）は進捗率76.7%と順調に進捗

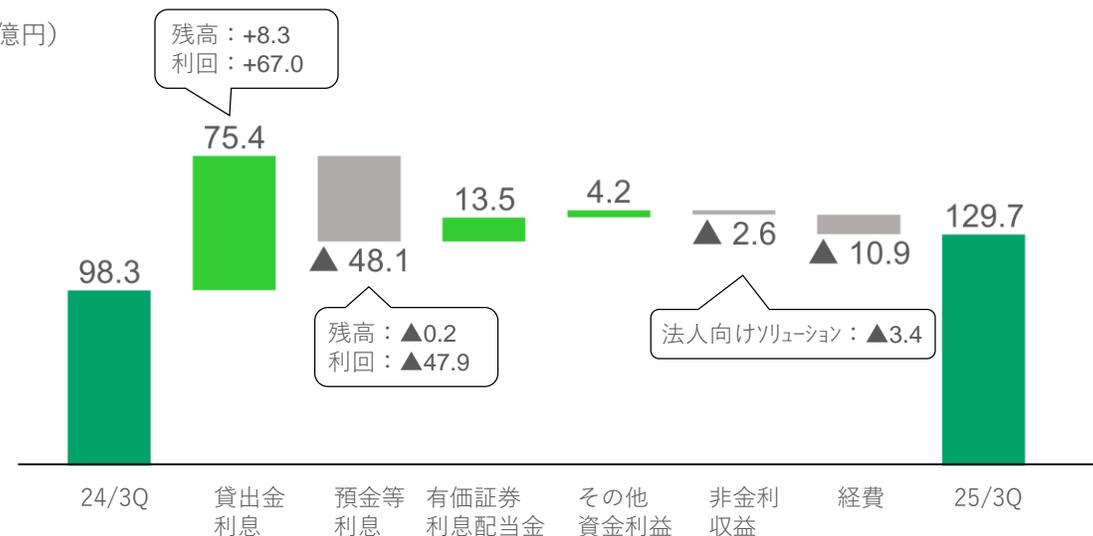
■三十三銀行

(億円)

	25/3Q	前年同期比	公表比 進捗率
コア業務粗利益	407	▲42	
資金利益	319	▲44	
うち貸出金利息	307	▲75	
うち預金等利息	▲63	▲48	
うち有価証券利息配当金	65	▲13	
非金利収益	87	▲2	
経費	▲277	▲10	
人件費	▲148	▲3	
物件費・税金	▲128	▲7	
コア業務純益	129	▲31	76.7%
有価証券関係損益	4	▲3	
国債等債券損益	▲45	▲30	
株式等関係損益	50	▲27	
信用コスト	▲8	▲1	
経常利益	126	▲26	82.9%
特別損益	▲0	▲0	
税引前四半期純利益	125	▲26	
四半期純利益	96	▲23	86.7%

■コア業務純益の前年同期比増減要因

(億円)



■FG連結

(億円)

	25/3Q	前年同期比	公表比 進捗率
経常利益	127	▲29	81.1%
親会社株主に帰属する 四半期	96	▲30	86.9%



▼ サイトはこちら



- 統合報告書
(毎年7月末頃開示)

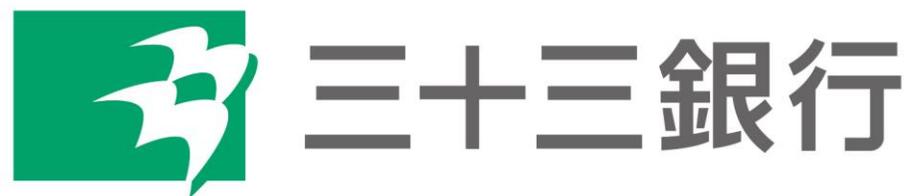
- IR資料 機関投資家向け
(毎年6・12月上旬頃開示)

HOME > 株式・投資家の皆さまへ > 財務情報・IR情報

財務情報・IR情報

決算短信	有価証券報告書	ディスクロージャー誌
ミニディスクロージャー誌	会社説明会資料	業績ハイライト

The image shows a screenshot of the IR website's '財務情報・IR情報' (Financial Information & IR Information) page. The page features a grid of six green buttons with white text and right-pointing arrows. The top row contains '決算短信' (Consolidated Financial Statements), '有価証券報告書' (Annual Report), and 'ディスクロージャー誌' (Disclosure Magazine). The bottom row contains 'ミニディスクロージャー誌' (Mini Disclosure Magazine), '会社説明会資料' (Company Presentation Materials), and '業績ハイライト' (Performance Highlights). Two dark grey arrows originate from the left side of the page: one points from the '統合報告書' (Consolidated Report) section to the 'ディスクロージャー誌' button, and the other points from the 'IR資料' (IR Materials) section to the 'ミニディスクロージャー誌' button.



三十三フィナンシャルグループ